

定例会

福津市3月定例会は、2月24日から3月17日までの間で開催しました。

平成27年度当初予算の総額は、一般会計、特別会計合わせた6会計で、総額367億2121万円、前年に比べ12億8600万円(3.6%)の増となっています。

4会計に問題を指摘し

反対しましたー日本共産党会派ー

「一般会計予算」では、福岡南小学校の給食室増築工事費等など市民にとって必要な予算も計上されていません。

しかし、市民の暮らしが大変なとき不要不急な庁舎統合の福岡庁舎整備・建設費として9・7億円計上。「庁舎統合に大金を使うのではなく、市民の身近な暮らしを応援するべきです。」

市民課の窓口業務に人材派遣会社の導入、国民番号制、職員給与など問題点があります。

「国保特別会計」、「後期高齢者特別会計」、「介護保険特別会計」については消費税の値上げや年金の削減、日々の暮らしが大変で、「払いたくても払えない」状況のなか、介護保険では値上げする。このような、市民への負担増は認めることはできません。



今こそ暮らしを助ける市政を

平成27年度予算 可決！

総額 367億2121万円

- 一般会計予算 203億7032万円
- 国民保険事業 77億8612万円
- 後期高齢者事業 9億2157万円
- 介護保険事業特別会計 44億6538万円
- 公共下水道事業特別会計 31億6971万円
- 住宅新築資金貸付事業特別会計予算 811万円

代表質問 大久保三喜男

一、安全・安心のまちづくり

問 災害は起きるべくして起きるものである。事前の被害防止対策こそ必要だ。津波災害対策は避難場所の確保を早急に確保せよ。

答 危険個所の点検は年一回巡回している。津波対策は県が避難計画を策定するので、それに従い対応する。

二、活力と賑わいのまちづくり

問 まちの活力の源は、第一次産業の活力発展だ。農業では鳥獣被害対策等など・漁業では水産資源の開発をすべきである。

答 根こぶ病は新薬の補助を追加する。鳥獣被害は希望者に行きわたるよう充実する。水産資源は力キ、アサリ開発をすすめる。

三、住みよい健康福祉のまちづくり

問 子育て支援で、県が小学校六年生まで医療費無料化を検討している。実現すれば市負担が50%軽減する、中学校三年生まで医療費の完全無料化をするべきだ。

答 県の動向をみながら、今後の検討課題としたい。

四、豊かな文化のまちづくり

問 「文化財団」が解散することには残念だ。指定管理者制度に問題。文化・歴史遺産の継承に歴史資料館の建設をすべきだ。

答 財団が指定管理者に指定されず残念な結果となった。指定管理者制度は継続する。歴史資料館は津屋崎庁舎に計画中である。

五、恵まれた自然共生のまちづくり

問 再生可能エネルギーの生産的立場で洋上風力発電誘致や電線(柱)の地中化の促進を。

答 仮に民間企業の設置計画があれば、支援できれば検討したいと考えている。電線地中化は、裏配線化で取り組んでいきたい。

六、行財政改革と健全なまちづくり

問 庁舎統合は10億円以上の莫大なお金がかかる。分庁方式の方がムダな金がかからない。市民生活こそ優先すべきだ。庁舎統合はやめよ。

答 効率的な行政組織運営や市民の利便性、庁舎管理費の縮減など行財政改革として一刻も早く取り組むたい。

七、生活道路整備 故郷基金について

3月議会に提案された38議案の内、問題点のある7議案について、反対しました。

議案に対する日本共産党会派と全体の態度

○賛成
×反対

議案	賛成	反対
市町村職員退職手当組合規約の変更	○	○
宗像市・福津市介護認定共同設置の規約の変更	○	○
平成26年度一般会計補正予算	○	○
国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○
後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○
介護保険事業特別会計補正予算	○	○
公共下水道特別会計補正予算	○	○
地域処理施設事業特別補正予算	○	○
住宅新築資金貸付特別会計補正予算	○	○
平成27年度一般会計補正予算	○	○
国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○
後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○
介護保険事業特別会計補正予算	○	○
公共下水道特別会計補正予算	○	○
住宅新築資金貸付特別会計補正予算	○	○
指定介護予防支援等の人員や運営等の基準	○	○
地域包括支援センターの事業の人員及び運営の基準	○	○
勝浦浜海洋スポーツセンター条例の制定	○	○
福津市役所の位置を定める条例の改正	○	○
行政手続条例の改正	○	○
附属機関設置条例の改正	○	○
一般職の給与に関する条例の改正	○	○
行政財産使用料条例の改正	○	○
財産の交換、譲渡、無償貸与等に関する条例の改正	○	○
福祉事務所設置条例の改正	○	○
福津市介護保険条例の改正	○	○
福津市指定地域密着型サービスの事業の人員・運営	○	○
重度障害者医療費の支給に関する条例の改正	○	○
特別会計条例の改正	○	○
武道館条例の改正	○	○
保育の実施に関する条例の廃止	○	○
財産の取得	○	○
市道路線の認定、廃止及び変更	○	○
勝浦浜海洋スポーツセンターを宗像市民使用の協議	○	○
副市長の選任についての同意	○	○
教育委員会委員の任命についての同意	○	○
政党助成金を廃止することを求める意見書	○	○
アスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書	○	○

一般質問 戸田進一

介護サービスが低下しないように

問 介護制度が改定され、介護報酬の引き下げや要支援者の通所介護と訪問介護が制度よりはらずされる。

又、特養老人ホームの入所が基本要介護3以上となる。そこで、利用者の介護サービスの質や量の低下があつてはならない。また、介護制度は保険料が上昇し続けるしくみになっており、具体的な軽減措置をとるべき

答 サービスの低下が起こらないように努力する。また、保険料の軽減措置は将来的に検討する。

「二学期制」の見直しを求める

問 平成24年度に実施した保護者・教職員対象の「二学期制アンケート」結果は、二学期制に対して厳しい評価であったと思う。

又、土曜日授業導入で二学期制の授業数確保目的が薄れてきたし、何よりも、子どもにとってやり直し(節目)の機会は多いほどいいと思う。二学期制の見直しを求める。

答 福津市の実態にそつた学期制について検討する。総合計画が平成29年度以降から新たになるので、それに向けていろいろ意見を聞き、検討していく。